



TITLE:

Role Development of Nurses for Technology-Dependent Children Attending Mainstream Schools in Japan( Abstract\_要旨 )

AUTHOR(S):

Shimizu, Fumie

---

CITATION:

Shimizu, Fumie. Role Development of Nurses for Technology-Dependent Children Attending Mainstream Schools in Japan. 京都大学, 2015, 博士(人間健康科学)

ISSUE DATE:

2015-03-23

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k18909>

RIGHT:

許諾条件により本文は2016/03/20に公開; 許諾条件により要旨は2015/06/23に公開(2015/08/04公開日変更)

京都大学	博士（人間健康科学）	氏 名	清 水 史 恵
論文題目	Role Development of Nurses for Technology-Dependent Children Attending Mainstream Schools in Japan （日本の通常学校に通学する医療的ケアを要する 子どもをケアする学校看護師の役割の発展）		
（論文内容の要旨）			
【背景および目的】 世界的に、障害の有無に関わらず子どもたちが共に学ぶというインクルーシブ教育の重要性が唱えられている。しかし、医療的ケアを要する子どもが、学校生活で教育活動に十分参加できていないことが報告されている。 日本では、2011年に初めて文部科学省より通常学校での医療的ケアの体制整備に関し通知が出された。それを受け、通常学校で医療的ケアを提供するため、看護師を雇用する教育委員会がみられてきている。学校看護師は、教育の場という新たな場で、体制が確立していない中、専門職として役割を発展させていくことが求められており、その支援が急務と考えられている。 本研究の目的は、通常学校で医療的ケアを提供する学校看護師が、専門職として役割を発展させる過程を提示することである。			
【方法】 質的研究			
1. 対象者と選定方法 全国100か所の、通常学校に医療的ケアに関わる学校看護師を配置している教育委員会を対象とし、学校看護師の配置や雇用状況等の実態調査を行った。その結果をもとに、理論的サンプリングを行った。勤務地、医療的ケアの内容、経験年数を考慮し、経験豊かな学校看護師21名を選定した。			
2. データ収集・分析方法 個別に半構成的インタビューを行い、録音されたインタビューを逐語録化しデータとした。修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（木下，2003）を用いて分析した。新たな概念が抽出されなくなる理論的飽和の段階に至るまで、データ収集、分析を継続した。真実性、信用可能性の確保のため、専門家のスーパーバイズを受け、分析結果と研究協力者の意図のずれの有無を研究協力者に確認した。			
【結果】 12のカテゴリーと37の概念が見出された。12のカテゴリーは、子どもの身体面の健康を保つステージ、子どもの心身の健康を保つステージ、子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージの3つのステージを構成していた。学校看護師は、子どもの身体面の健康を保つステージから、子どもの心身の健康を保つステージ、子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージへと、役割を変化させていた。いずれのステージにおいても、学校看護師は、ケアや教育への関わり方について迷いを抱くと、教諭や親や子どもたちと信頼関係を構築し、彼らから子どもへの関わり方を学ぶよう努め、役割を発展させていた。			
【考察】 学校看護師が役割を発展させる過程は、医療的ケアを要する子どもが周囲の子どもたちと共に学べるようサポートすることに意味を見出す過程を表していた。			

子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージは、Benner ら（2009）が述べるエキスパートの段階に該当し、学校看護師の役割の発展過程は、Benner ら（2009）の病院で急性期ケアを行う看護師のスキル獲得過程と類似していた。看護師は、働く場に関わらず、類似する段階を経て役割を発展させていることが示唆された。

#### 【結論】

本研究により、

- 1) 学校看護師が役割を発展させるプロセスは、子どもの身体面の健康を保つステージ、子どもの心身の健康を保つステージ、子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージから構成されていることが明らかとなった。
- 2) 学校看護師は、教諭や親や子どもたちと信頼関係を構築し、子どもへの関わり方を学び、学校社会や子どもを理解し、子どもをサポートする意味を見出しながら、役割を発展させていることが明らかとなった。

以上より、今後、示された学校看護師の役割の発展過程に基づき、学校看護師への教育や支援を行うことで、子どもの教育活動への参加が増し、インクルーシブ教育の実現につながることを期待される。

#### （論文審査の結果の要旨）

本研究は、通常学校で医療的ケアを提供する学校看護師が役割を発展させる過程を記述した質的研究である。

理論的サンプリングを用い、経験豊かな学校看護師21名を選定し、個別に半構成的インタビューを行った。録音したインタビューの逐語録をデータとして、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（木下，2003）により分析した。

結果、学校看護師が役割を発展させるプロセスは、子どもの身体面の健康を保つステージ、子どもの心身の健康を保つステージ、子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージから構成されていることが明らかとなった。学校看護師は、子どもの身体面の健康を保つステージから、子どもの心身の健康を保つステージ、子どもたちが共に学ぶことをサポートするステージへと、役割を変化させていた。学校看護師は、ケアや教育への関わり方について迷いを抱くと、教諭や親や子どもたちと信頼関係を構築し、彼らから子どもへの関わり方を学び、学校社会や子どもを理解し、子どもをサポートする意味を見出しながら、役割を発展させていた。学校看護師が役割を発展させる過程は、医療的ケアを要する子どもが周囲の子どもたちと共に学べるようサポートすることに意味を見出す過程を表していた。

以上の研究は、学校看護師の役割の発展過程の解明に貢献し、学校看護師への教育や支援、通常学校における医療的ケアシステムの立案に寄与するところが多い。したがって、本論文は博士（人間健康科学）の学位論文として価値あるものと認める。なお、本学位授与申請者は、平成27年2月5日実施の論文内容とそれに関連した試問を受け、合格と認められたものである。

要旨公開可能日： 2016 年 2 月 1 日 以降